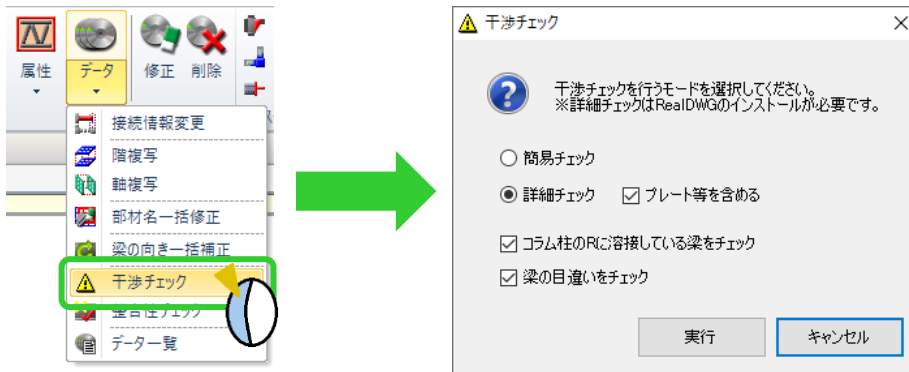


## 部材や板が干渉していないか確認したい！ 干渉チェックで確認ができます。

【データ】 - 【干渉チェック】をクリックし、干渉チェックを行うモードを選択します。

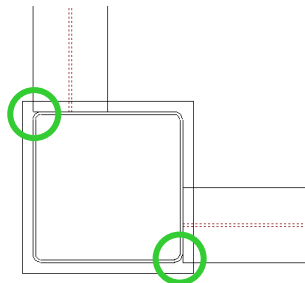
簡易チェックは鋼材を直方体として認識する簡易的なチェック、詳細チェックは実際の形状で認識し、『プレート等を含める』にチェックを付けると継手などのプレートの干渉チェックも含めて行います。今回は、詳細チェックを選択し、『プレート等を含める』にチェックを付けて**実行**をクリックします。



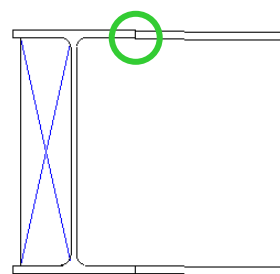
『コラム柱のRに溶接している梁をチェック』にチェックを付けると、コラム柱に溶接する梁がコラムのR部分に溶接していないかチェックします。

『梁の目違いをチェック』にチェックを付けると、梁が目違いをしていないかをチェックします。

コラム柱のRに  
溶接している梁を  
チェック



梁の目違いを  
チェック



干渉チェックの結果を表示します。干渉している部材の接続や位置を確認します。

『選択と同時に強調表示』にチェックを付けると、選択した内容を強調表示します。

